

報告第26号

一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、次のとおり提出する。

令和7年9月2日

つくば市長 五十嵐立青

2024 年 度 事 業 報 告

〔 自：2024 年 4 月 1 日
至：2025 年 3 月 31 日 〕

一 般 財 団 法 人 つ く ば 市 国 際 交 流 協 会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2024 年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位：人)

役 員		職 員	
理事長（非常勤）	1	事務局長（市派遣職員）	1
常務理事	0	総務課	3
理事（非常勤）	9	総務課（市派遣研修職員）	1
監事（非常勤）	2	総務課（非常勤職員）	2
		総務課（多文化共生コーディネーター）	5
		印紙証紙売りさばき所（非常勤職員）	5
計	12	計	15

(2) 評議員会

第 1 回評議員会（2024 年 6 月 5 日）（コリドイオ多文化共生ルーム）

- (1) 議案第 1 号 2023 年度事業報告及び計算書類の承認について
- (2) 議案第 2 号 理事・監事の選任について
- (3) 議案第 3 号 評議員の選任について

(3) 理事会

第 1 回理事会（2024 年 5 月 29 日）（コリドイオ多文化共生ルーム及び ZOOM）

- (1) 議案第 1 号 2023 年度事業報告および計算書類の承認について
- (2) 議案第 2 号 理事・監事の選任について
- (3) 議案第 3 号 評議員会招集について

臨時理事会（2024 年 6 月 5 日）（コリドイオ多文化共生ルーム及び ZOOM）

- (1) 議案第 1 号 理事長の選任について

第 2 回理事会（2024 年 9 月 27 日）（コリドイオ大会議室）

- (1) 議案第 1 号 2025 年度事業計画の方針について
- (2) 報告 1 理事長による職務執行状況の報告について

第 3 回理事会（2025 年 3 月 17 日）（コリドイオ多文化共生ルーム及び ZOOM）

- (1) 議案第 1 号 2024 年度収支補正予算書について
- (2) 議案第 2 号 2025 年度事業計画書及び収支予算書について
- (3) 議案第 2 号 借入金最高限度額について
- (4) 報告 1 理事長による職務執行状況の報告について

2024 年（令和 6 年）度事業計画の方針

つくば市内の外国人市民数は、2024 年（令和 6 年）2 月 1 日現在、144 か国 12,712 人（対前年度同月比 5 6 8 人の増）、国籍別では、中国国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、インドネシアの順となっています。特に、ベトナム国籍者は当協会が一般財団法人化した 2013 年と比較して約 12 倍となっています。

近年の外国人市民数は、新型コロナウイルス感染症の拡大により一時は減少しましたが、国の水際対策の緩和や、令和 5 年 5 月 8 日からその分類を「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる 2 類相当）」から「5 類感染症」に移行したことで、国内外の経済活動や交流が再び活発になり、今後も増加傾向にあります。

このような中、外国につながるこどもから大人まで幅広い世代に対する日本語支援の需要は引き続き増加しており、対面での「こども日本語勉強会」やオンラインでの「大人日本語講座」を行ってきました。

また、文化交流事業についても徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。文化交流事業の「世界お茶のみ話」では参加者の人数制限を緩和し、令和 5 年 7 月末には 4 年ぶりとなる日韓青少年交流事業を再開し、つくば市内の中学生 15 人が韓国大田広域市を訪問・交流を行いました。さらに、10 月上旬には来日したインドネシア中高生の日本文化体験を支援し交流を深めました。

つくば市では、令和 5 年 3 月「第 2 次つくば市グローバル化基本指針」を策定し、目指すゴールを「外国人・日本人の区別なく、すべての人にとって住みやすいグローバル都市」としています。

この実現のために当協会は、2024 年（令和 6 年）2 月 12 日に新たに整備された「コリドイオ」を国際交流拠点として市と協働し、ボランティアなど市民を巻き込みながら、事業を推進していきます。

このような状況に鑑み、2024 年（令和 6 年）度は、引き続き、行政、教育機関及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えとともに、新たな国際交流拠点をいかしながら、次の重点目標に取り組みます。

【重点目標】

1. 外国人生活支援の充実

外国につながる子どもや大人の日本語学習支援のため、施設3階の多文化共生ルームなどを活用し、対面のほか、オンラインでの日本語クラスを開設するなど、充実を図ります。

2. 外国人への情報提供とコミュニティの活性化

外国人が生活する上でのニーズを探り、必要な情報を多言語でホームページ、SNS等で発信することで、外国人同士のコミュニティの活性化を促進するため、多文化共生コーディネーターを配置します。

3. 国籍や世代を超えた市民の交流・活躍の場の提供

施設3階の多文化共生ルームやその他共有スペース等を、国籍や世代を超えた多くの人々の交流やボランティアなどの活躍の場としていきます。

4. 新規ボランティアの育成と既存ボランティアの事業拡大の検討

協会事業は、多くのボランティアの支援により成り立っていることから、この施設を有効に活用しボランティアの育成を進めるとともに、活動機会の充実を図ります。

年度別 事業計画 比較表

国際交流事業

2024 年度事業計画	
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1 日本語（大人向け）	(1) 日本語講座 (2) 日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援	(1) こども日本語勉強会（日本語学習相談） (2) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 (3) こども日本語指導者研修会 (4) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (5) こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア育成・派遣	
4 メディカル英会話講座	
5 やさしい日本語で防災講座	
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1 つくばフェスティバル（名称変更）	
2 文化交流	(1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流	
4 通訳ボランティア入門講座（名称変更）	
5 ボランティア募集・派遣	(1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業（名称変更） (3) ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ	
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1 ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・広報誌発行）	
2 多文化共生推進事業（名称変更）	
3 賛助会員募集	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	

2023 年度事業計画	
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1 日本語（大人向け）	(1) 日本語講座 (2) 日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援	(1) こども日本語勉強会（日本語学習相談） (2) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会（新規） (3) こども日本語指導者研修会 (4) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (5) こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア派遣	
4 メディカル英会話講座	
5 やさしい日本語で防災講座	
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1 フェスティバル（国際交流フェア）	
2 文化交流	(1) 世界お茶のみ話 (2) 日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流（再開）	
4 英語で交流（仮称）	（旧おもてなし英会話を名称変更）
5 ボランティア募集・派遣	(1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 市民を繋げる通訳ボランティア（チューター）派遣事業（新規） (3) ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ	
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1 ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）	
2 国際交流協会ラウンジ運営事業（新規）	
3 10 年記念事業（新規）	
4 賛助会員募集	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	

2024 年（令和 6 年）度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 （1）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （2）15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 （3）こども日本語指導者研修会 （4）小中学校就学・高校進学ガイダンス （5）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア育成・派遣
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル（名称変更）
2	文化交流 （1）世界お茶のみ話（講演会） （2）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流
4	通訳ボランティア入門講座（名称変更）
5	ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （2）外国人生活サポート事業（名称変更） （3）ボランティア交流会
6	シティ・チャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1	ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・広報誌発行）
2	多文化共生推進事業（名称変更）
3	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2. 事業詳細

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 日本語講座（大人向け）

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として実施した。

コリドイオ多文化共生ルームが講座室として整備されたことから対面授業を再開し、オンラインクラスを縮小した。

また、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座を年2回開催し、さらに現ボランティアのための勉強会を開催した。

教室運営は、日本語ボランティア講師（TIVONAの会）が担っている。

（1）日本語講座

【実績】

① クラス数：前期 11 クラス、後期 9 クラス（日本語 1～3、読み書き、日本語の会）

② 期 間：前期（4月～7月、165回）、後期（10月～2月、135回）

③ 方 法：対面及びオンライン（Zoom）開催

④ 受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	104 名	43 名
後 期	99 名	41 名
合 計	203 名	84 名

⑤ 参加費：2,000 円 ※ウクライナ避難民については無料とした。

（2）日本語講師ボランティア入門講座

【実績】

① 期 日：2024 年 9 月 16 日（土）～10 月 6 日（金）

2025 年 2 月 1 日（土）～2 月 15 日（土）

講座終了後、活動希望者は見学を経て講師ボランティアとして参加するようにした。

② 講 師：井上里鶴（りず）氏（麗澤大学准教授、茨城県日本語教育アドバイザー）

TIVONA の会

③ 対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人

④ 方 法：動画視聴（30 分 4 本）及び対面

⑤ 会 場：コリドイオ大会議室または多文化共生ルーム

- ⑥ 参加者：50 名
- ⑦ 参加費：2,500 円（2 回目のみ賛助会員割引）

（3） 講師勉強会

大人の外国人に日本語を教えるボランティアが、助け合いながら良い授業をするための勉強会を開催した。

内容は「地域日本語教育の新しい展開と教師のスキルアップに役立つツール」であった。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 3 月 29 日（土）
- ② 講 師：田中 祐輔 氏（筑波大学教授）
- ③ 対象者：TIVONA の会会員
- ④ 方 法：オンライン（Zoom）開催
- ⑤ 参加者：20 名
- ⑥ 参加費：無料

2 こども日本語・就学・進学支援

【概要】

外国につながるこども達の日本語指導及び小中学校への就学や、高校への進学のためのガイダンスを行った。また、こども日本語指導者の育成や、つくば市内のこども達の日本語指導の課題や今後の支援のあり方などについて、関係団体と共有した。

（1） こども日本語勉強会（日本語学習相談）

市内小中学校では、日本語支援が必要な児童生徒が毎年増加しているため、放課後などに個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行った。

【実績】

- ① 開催日：（前期）2024 年 4 月 12 日～2024 年 9 月 27 日（火、金）
（後期）2024 年 10 月 8 日～2025 年 3 月 21 日（火、金）
- ② 回 数：クラス 76 回（うち 1 回は荒天により中止）、日本語力チェック及び保護者面談 12 回
- ③ 対 象：つくば市内の公立学校に通う 5 年生以上高校生以下
- ④ 参加者：44 名（延べ 998 人、平均 13.3 人）（アルゼンチン、アンゴラ、インド、エジプト、カメルーン、ケニア、スリランカ、ナイジェリア、ベトナム、マラウイ、中国）
- ⑤ 講 師：32 名（延べ 648 人 平均 9.1 人）
- ⑥ 内 容：日本語勉強会に参加する前に学習相談を実施し、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。

また、定期的に講師のミーティングを開催し、こども達の状況や指導方法について講師間で共有した。

- ⑦ 参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（２） 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会

学齢期（15 歳）を過ぎて来日したこどもは中学校や高校への編入が難しく、進路を選択する場合においても日本語を習得していることは重要であるため、学校に通っていない 15 歳から 18 歳までのこどもを対象とした、本人や家族の希望に沿った日本語支援を目的として実施した。

【実績】

- ① 開催日：（前期）2024 年 4 月 17 日～2024 年 9 月 26 日（水、木）
（後期）2024 年 10 月 10 日～2025 年 3 月 14 日（木、金）
- ② 回 数：クラス 77 回、日本語力チェック及び保護者面談 3 回
- ③ 対 象：つくば市在住の学校に通っていない 15 歳～18 歳まで
- ④ 参加者：4 名（延べ 99 人、平均 1.3 人）（アメリカ、コロンビア、タイ）
- ⑤ 講 師：4 名（延べ 86 人 平均 1.1 人）
- ⑥ 内 容：日本語勉強会に参加する前に学習相談を実施し、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどもの進路やレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。
- ⑦ 参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（３） こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、座学と実習を行った。修了者 4 名がこども日本語勉強会で活動を開始した。

【実績】

- ① 開催日：座学：2024 年 10 月 5 日（土）、12 日（土）、11 月 30 日（土）、12 月 7 日（土）、14 日（土）（計 5 日間）
座学終了後見学及び実習を経た人を修了者とみなし、希望者は講師として活動を開始した。
- ② 場 所：多文化共生ルーム
- ③ 講 師：吉田麻子 氏
- ④ 参加者：22 名（修了者 17 名）
- ⑤ 参加費：2,500 円

（４） 小中学校就学、高校進学ガイダンス

つくば市教育委員会との協働事業として、小中学校への就学、高校進学ガイダンス、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを小中学校就学、進学ガイダンスを実施した。

【実績】

- ① 開催日：2024 年 9 月 7 日（土）、10 月 19 日（土）
- ② 場 所：コリドイオ大会議室
- ③ 内 容：小中学校就学ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④ 参加者：16 家庭 29 名、運営：12 名
内訳
小中学校ガイダンス：9 家庭 19 名
高校ガイダンス：7 家庭 10 名
- ⑤ 対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、シンハラ語
- ⑥ 参加費：無料

（５） つくばこども日本語支援プラットフォーム

【概要】

外国につながるこどもたちの日本語支援を行う関係団体が、つくば市の課題を共有し、国際交流協会としての支援方法について、ご提案いただくことを目的として実施した。

構成団体：筑波大学、日本国際学園大学、風の会、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、NPO センターコモンズ、日本語学校つくばスマイル、当協会（主催者）

【実績】

- ① 期 日：2024 年 12 月 9 日（月） 15:00～16:30
- ② 場 所：多文化共生ルーム
- ③ 内 容：
 - ・ 外国につながるこどもの市内小中学校等における在籍状況
 - ・ こども日本語学習支援等に関する事業報告と課題
 - ・ 茨城県内外の取り組み
 - ・ 今後のこども支援に関する協会事業の方向性
- ④ 出席者：9 名

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が母国語で安心して医療機関を受診できるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関に医療通訳ボランティアを派遣した。また、新たな制度設計を行い、病床数が 20 床未満の医療機関（クリニック等）への医療通訳ボランティア派遣を拡充した。

つくば市の要請に伴い、1 歳 6 か月健診、3 歳健診に同英語ボランティアを派遣した。

【実績】

① 病院

メディカルセンター病院 3回（スペイン語）

② クリニック等

昨年度から2回にわたって案内を送付したが、派遣依頼はなかった。

③ 乳幼児検診への派遣

つくば保健センター 20回（英語）

4 メディカル英会話講座

【概要】

市内の医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・支払いや保険の説明・次回の予約方法についてのメディカル英会話講座を行った。

講座は、昼休みに気軽に受講できるよう Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

① 期 日：2024 年 10 月 1 日、8 日、22 日、29 日（全て火）

1 科目当たり 60 分

② 場 所：Zoom 利用によるオンライン講座

③ 内 容：受付事務、薬剤師、医師、看護師の 4 科目

④ 参加者：延べ 33 名

⑤ 参加費：個人 1 科目 1,000 円、病院 1 科目 5,000 円

※ なお、当協会賛助会員及び医療通訳派遣協定締結病院の特典として、会員及び登録事業所等勤務者の受講料を免除した。

5 やさしい日本語で防災講座

【概要】

外国につながる方々を対象に、やさしい日本語での消火器訓練、自動車のタイヤ交換用ジャッキを使つての人命救助、119 番通報など、6 つのミッションを体験しながら防災の知識を得ることを目的として開催した。開催に際しては、つくば中央消防署、つくば市社会福祉協議会にもご支援をいただいた。

【実績】

① 事業名：やさしいにほんごで にげろ！たすけろ！防災脱出ゲーム！

② 期 日：2024 年 9 月 28 日（土）

③ 場 所：コリドイオ、つくばセンター広場

④ 講 師：水谷浩子 氏（防災士）

- ⑤ 参加者：108 名、スタッフ・ボランティア：31 名
- ⑥ 主 催：にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム
- ⑦ 共 催：つくば市国際交流協会
- ⑧ 後 援：つくば市、つくば市教育委員会
- ⑨ 協 力：つくば市中央消防署、つくば市社会福祉協議会

B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

1 つくばフェスティバル事業

【概要】

外国文化の体験（団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売）を通して、異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

- ① 期 日：2024 年 5 月 11 日（土）、12 日（日）
- ② 会 場：つくばセンター広場、大清水公園
- ③ 来場者：130,000 人
- ④ テント出展：22 団体
- ⑤ 出展者負担金：1 テントあたり、販売関係 22,000 円、販売無 16,000 円
- ⑥ ステージ発表：9 団体（下記一覧）

◇ステージ出演者一覧

	団体名	内 容
1	つくば市、アーバイン市、 和太鼓 誉	つくば・アーバイン姉妹都市提携 35 周年記念式典&和太鼓演奏
2	Vietnamese Students Association at University of Tsukuba	ベトナムのポップス
3	GULISTON（グリスタン）	ウズベキスタン・タジキスタンの民族舞 踊
4	JICA 筑波（カレミ・アジ ムラ）	アフガニスタン民族楽器「ルバーブ （Rubab）」の演奏
5	SING THE LADIES	ポピュラーミュージック ミックスバー ジョン
6	Indonesian Student Association in Ibaraki	インドネシア サマン舞踊
7	MD Sedai	アメリカ、ロシア、韓国から発祥したダ ンス
8	シュクランアラビア同好会 茨城支部	アラビアの唄と踊り、ウードやダラブ ックによる生演奏と共につくばの風にの せて

9	つくばミニモンゴルこども サークル	モンゴルの歌と踊り
---	----------------------	-----------

- ・世界お茶のみ話（トルクメニスタン）ジキエヴァ オグルナバット氏 37名
- ・韓国ポジャギ体験 共催 KOREA 文化交流協会 44名

2 文化交流

(1) 「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」（講演会）

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

- ① 開催日：毎月第3土曜日
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム、大会議室
- ③ 講 師：19名
- ④ 参加費：無料
- ⑤ 聴講者：延べ363名
- ⑥ 内 容：下記のとおり

2025/3/31 現在

期日	国名	講師	参加者数	YouTube 閲覧回数
2024年 4月20日	第80回 アンティ グア・バーブーダ	Shaka Francis	28名	98回
5月18日	第81回 トルクメ ニスタン	ジキエヴァ・オグ ルナバット	37名	非公開
6月15日	第82回 国連 UNHCR 協会	天沼 耕平	44名	79回
7月20日	第83回 ベナン	セポン・セシメ・ パクミナ	33名	39回
8月17日	第84回 アルゼン チン	バシェフィン・カ ミラ	43名	77回
9月21日	第85回 アフガニ スタン	ワリ・ハン・アフ マドザイ	24名	非公開
10月19日	第86回 モルドバ	ナイク・エレナ	28名	65回
11月30日	第87回 ペルー	迫田 ベルタ	26名	47回
12月21日	第88回 つくば・ インターナショナ ル・スクール	TISの生徒の皆さん	22名	66回
2025年 1月18日	第89回 ガボン共 和国	西村 未央	24名	26回

2月15日	第90回 マレーシア	ウォン・クロエ	28名	123回
3月15日	第91回 宇宙船地球号	高橋 亮（JICA 筑波所長）	26名	非公開

※ YouTube 配信は継続的に行っている。

（２） 外国人のための日本・外国文化体験

① 日本文化体験

【概要】

つくば市在住の外国人を対象に、日本文化の体験として箏の演奏と茶道の体験を行なった。

【実績】

- ① 期 日：2024年9月8日（日）
- ② 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム、和室、調理・実習室、音楽室
- ③ 講 師：鈴木氏ほか（箏体験）、一掬の会（茶道）、14名
- ④ 参加者：7名
- ⑤ 参加費：500円
- ⑥ 内 容：箏と茶道体験

② 国際交流のためのトルクメニスタン・ウクライナ料理教室

【概要】

食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ① 期 日：2024年9月29日（日）
- ① 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 講 師：ジキエヴァ・オグルナバット氏、クルヴィツカ・ユリヤ氏
- ④ 参加者：20名
- ⑤ 参加費：2,000円
- ⑦ メニュー：グタブ、ボルシチ、チャル

③ やさしい日本語で万葉集入門講座

【概要】

奈良時代に編さんされた日本最古の歌集「万葉集」には、現代人が忘れかけた心の世界や渡来人の歌など、意外な発見があり、魅力ある万葉集の歌の世界を、外国の方や初心者向けに講演した。

【実績】

- ① 期 日：2024 年 11 月 2 日(土)
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム
- ③ 講 師：布浦 万代 氏
- ④ 参加者：22 名（うち外国人 4 名）
- ⑤ 参加費：無料
- ① 内 容：万葉集の解説

④ インドネシア中高生の日本文化体験

【概要】

将来日本に留学を希望しているインドネシアの高校生がつくばを訪れ、日本文化の体験として着物着付けと茶道の体験を支援した。

【実績】

- ① 期 日：2024 年 12 月 10 日(火)
- ② 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム、和室、調理・実習室、大会議室
- ③ 講 師：虹の会（着付け）16 名、一掬の会（茶道）5 名
- ④ 参加者：インドネシア高校生 42 名
- ⑤ 内 容：着物の着付けと茶道体験

⑤ パラグアイ料理教室

【概要】

食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 1 月 19 日（日）
- ② 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 講 師：パオラ氏、オユキ氏
- ④ 参加者：19 名
- ⑤ 参加費：2,000 円
- ⑥ メニュー：ソパ・パラグアヤ、パヤグア・マスカダ

⑥ コリドイオ1周年記念イベント“Corridoio Anni”「世界のおやつを楽しもう」

【概要】

コリドイオ開所1周年を記念して、つくば市民センターとの共催で記念イベントを実施した。協会は「世界のおやつを楽しもう」と題して、多文化共生コーディネーターによる自国（アメリカ、ウクライナ、トルクメニスタン）のおやつ、飲み物の提供及びスライドショーでの文化紹介を行った。

【実績】

- ① 期 日：2025年2月11日（火祝）
- ② 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 参加者：約120名
- ④ 参加費：無料
- ⑥ メニュー：バターミルクパンケーキ、ピシユメ、ナリスニキ

⑦ 韓国料理教室

【概要】

食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ① 期 日：2025年2月22日（土）
- ② 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 講 師：奥村明姫氏
- ④ 参加者：17名
- ⑤ 参加費：2,000円
- ⑥ メニュー：ブルコギ、ナムル3種（もやし、大根、人参）、わかめスープ

3 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

市の友好都市である韓国大田広域市との日韓青少年交流事業は、2年間をとおして実施するもので、大田広域市の中学生14名をつくば市に迎えた。

つくば市内在住の中学生15名とそのご家族が、ホームステイや文化体験活動を通じて交流した。

オリエンテーションにおいて、ヒッポファミリークラブの金田貴恵子氏をはじめ、KOREA文化交流協会の金榮姫氏、崔善花氏などにホームステイの心得や韓国語講座などについてお話いただいた。

【実績】

- ① 期 日：2024 年 7 月 11 日（木）：オリエンテーション
7 月 25 日（木）～28 日（日）：つくば受け入れ
8 月 22 日（木）：松本副市長への報告
- ② 実施地：つくば市
- ③ 参加者：つくば市中学生 8 中学校 15 名、大田広域市中学生 14 名
- ④ 内 容：以下のとおり

期日	内容	訪問先
7 月 11 日（木）	オリエンテーション	コリドイオ大会議室
7 月 25 日（木）	大田広域市中学生来日	成田空港
	歓迎式	コリドイオ大会議室
	エキスポセンター見学	エキスポセンター
	ゆかりの森宿泊	ゆかりの森
7 月 26 日（金）	浴衣、茶道体験	コリドイオ和室等
	JIXA、地質標本館、サイエンススクエア見学	JAXA、地質標本館
	ホームステイ	各家庭
7 月 27 日（土）	ホストファミリーデー	各家庭の計画による
7 月 28 日（日）	修了式	コリドイオ内
	帰国	成田空港
8 月 22 日（木）	副市長への報告	つくば市役所

- ⑤ スタッフ：一掬の会（茶道体験）、虹の会（着付体験）、通訳・翻訳 4 名、職員全員
- ⑥ 参加費：ホームステイ受入れにおける食費などは自己負担

4 通訳ボランティア入門講座

【概要】

つくば市在住の、ボランティアで通訳・翻訳を希望する人を対象に、通訳者として気を付けなければならないこと、配慮しなければならないことなどの基礎学習を目的とした入門講座を全編英語で実施した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 2 月 18 日（火）、25 日（火）全 2 回
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム（講師はオンラインにて講義）
- ③ 参加者：19 名
- ④ 参加費：2,000 円 賛助会員は無料とした。

5 ボランティア募集・派遣

(1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

【実績】

- ① 通訳・翻訳：15 件（つくばフェスティバル、世界お茶のみ話、日韓青少年交流事業、日本文化体験、小中就学・高校進学ガイダンス、まつりつくば、料理教室）
- ② 文化紹介：3 件（日本文化体験、インドネシア日本文化体験、日韓青少年交流事業）
- ③ イベントスタッフ：8 件（つくばフェスティバル、日本文化体験、世界お茶のみ話、やさしい日本語で防災講座、ボランティア交流会、小中就学・高校進学ガイダンス）

(2) 外国人生活サポート事業

【概要】

来日間もない外国人の日常生活を「生活サポーター」が Facebook や Messenger を使って質問や疑問などに答えるほか、銀行口座の開設などについては、現地に赴き通訳や手続きの支援を行った。

【実績】

- ① 対応件数：7 件
 - 内訳・メッセージでの回答：4 件、
 - ・銀行口座開設：2 件
 - ・学校の保護者面談：1 件
- ② サポーター登録者：13 名
- ③ 利用登録者：22 名

○ 周知イベントの開催

【概要】

在住外国人を対象に、外国人支援情報を知らせることを目的としたイベントの開催

【実績】

- ① 期 日：12月15日（日）
- ② 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ③ 内 容：折り紙・書道・のし袋作り体験、サポーター事業等紹介
- ④ 参加者：つくば市内在住外国人 20か国 56人（内小学生以下13人）

（3） ボランティア交流会

【概要】

協会に登録している各種ボランティアによる活動紹介やこれから活動することに関心がある市民が相互に交流することにより、新たなボランティア登録者を獲得するとともに活動活性化を図ることを目的として実施した。

【実績】

- ① 期 日：2025年3月8日（土）
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム、大会議室
- ③ ボランティア活動報告者：10名、イベントスタッフ：2名
- ④ 参加者：58名
- ⑤ 参加費：無料
- ⑥ 内 容：第1部 つくば市国際交流協会の活動紹介
第2部 ボランティア活動紹介
第3部 ボランティアブースでの交流会

6 シティ・チャットカフェ

【概要】

筑波大学及び協会の共催事業として、対面にて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加し、1班6～8名程度のグループに分かれ、英語でフリートーキングを行った。

【実績】

- ① 期 日：2024年5月19日～2025年2月16日（8回）
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム、筑波大学グローバルヴィレッジ・コミュニティステーション2階
- ③ 協会担当：4回
- ④ 参加者：248名、スタッフ45名
- ⑤ 参加費：無料

開催日	参加者	スタッフ	会場
2024 年 5 月 19 日	31 名	5 名	コリドイオ
6 月 16 日	41 名	6 名	筑波大学
7 月 21 日	23 名	5 名	コリドイオ
10 月 20 日	22 名	6 名	筑波大学
11 月 17 日	23 名	5 名	コリドイオ
12 月 15 日	39 名	6 名	筑波大学
2025 年 1 月 19 日	24 名	5 名	コリドイオ
2 月 16 日	45 名	7 名	筑波大学

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）

1 ニーズ調査・広報

（１） ホームページ ・ Facebook

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、多言語で情報を発信した。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

（２） Link！発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載した。

【実績】

- ① 発行：Link! 第 18 号、第 19 号（2024 年 9 月、2025 年 3 月）発行。
- ② 発行部数：第 18 号：6,800 部、第 19 号：800 部
- ③ 配布先：賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。また、第 18 号については区会回覧も実施した。

(3) ニーズの把握

【概要】

2024 年協会事業参加者にアンケート又は口頭で事業時に感想を聞くなどして今後事業に反映した。

【実績】

お茶のみ話など、各事業終了時に、アンケート又は口頭により感想を聞いた。

2 多文化共生推進事業

【概要】

外国人が必要とする日常生活に関連する様々な情報発信や、日本人との交流、地域参画を推進したい人やグループに場を提供することを目的に、コリドイオの開所時期に合わせ、令和6年2月1日から多文化共生コーディネーター計5名を配置した。(各者週1回配置)

【実績】

ウクライナ2名、韓国、トルクメニスタン、アメリカ各1名を雇用し、情報発信を開始した。(内2名は途中退職)

3 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持した。

【実績】

個人会員：81口、 団体会員：6口、 法人会員：8口
会費合計：392,000円

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

【概要】

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図った。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移
(単位：件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10 年	5 年	12 歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31 (2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R 2 (2020)	1,075	288	139	790
R 3 (2021)	916	254	189	727
R 4 (2022)	3,839	1,172	728	2,574
R 5 (2023)	6,471	2,750	1,383	4,357
R 6 (2024)	5,669	2,554	1,273	4,440

R6：2025 年 3 月末現在

2024 年度決算報告書

〔 自:2024 年 4月 1日 〕
〔 至:2025 年 3月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,162,363	17,827,567	7,334,796
未収金	205,647	116,375	89,272
棚卸資産	14,236,353	10,317,747	3,918,606
前払費用	47,629	56,664	△ 9,035
流動資産合計	39,651,992	28,318,353	11,333,639
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	1,298,000	6,874,000	△ 5,576,000
特定資産合計	1,298,000	6,874,000	△ 5,576,000
固定資産合計	4,298,000	9,874,000	△ 5,576,000
資産合計	43,949,992	38,192,353	5,757,639
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
未払金	15,679,984	6,184,632	9,495,352
前受金	1,133,560	12,000	1,121,560
預り金	316,023	742,095	△ 426,072
流動負債合計	18,129,567	8,938,727	9,190,840
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,298,000	6,874,000	△ 5,576,000
固定負債合計	1,298,000	6,874,000	△ 5,576,000
負債合計	19,427,567	15,812,727	3,614,840
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	21,522,425	19,379,626	2,142,799
一般正味財産合計	21,522,425	19,379,626	2,142,799
正味財産合計	24,522,425	22,379,626	2,142,799
負債及び正味財産合計	43,949,992	38,192,353	5,757,639

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	51	51	0
基本財産受取利息	51	51	0
特定資産運用益	1,776	100	1,676
特定資産受取利息	1,776	100	1,676
事業収益	158,815,942	164,253,218	△ 5,437,276
旅券発給支援に関する事業収益	158,815,942	164,253,218	△ 5,437,276
受取補助金等	38,238,219	39,558,522	△ 1,320,303
受取地方公共団体補助金	38,238,219	39,558,522	△ 1,320,303
受取負担金	1,462,157	1,329,437	132,720
受取負担金	1,462,157	1,329,437	132,720
受取会費	392,000	544,000	△ 152,000
賛助会員受取会費	392,000	544,000	△ 152,000
受取協賛金	0	20,000	△ 20,000
受取協賛金	0	20,000	△ 20,000
受取寄付金	2,000	0	2,000
受取寄付金	2,000	0	2,000
雑収益	31,706	292	31,414
受取利息	15,188	292	14,896
雑収益	16,518	0	16,518
経常収益計	198,943,851	205,705,620	△ 6,761,769
(2) 経常費用			
事業費	177,828,707	183,187,298	△ 5,358,591
国際交流事業費	21,786,267	21,064,716	721,551
国際交流人件費(職員)	11,367,542	11,982,959	△ 615,417
国際交流人件費(非常勤職員)	2,118,321	2,026,113	92,208
国際交流事業費	8,300,404	7,055,644	1,244,760
旅券発給支援に関する事業費	156,042,440	162,122,582	△ 6,080,142
管理費	18,972,345	20,622,399	△ 1,650,054
人件費	11,802,417	14,045,075	△ 2,242,658
本部運営費	7,169,928	6,577,324	592,604
経常費用計	196,801,052	203,809,697	△ 7,008,645
評価損益等調整前当期経常増減額	2,142,799	1,895,923	246,876
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,142,799	1,895,923	246,876
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			

当期一般正味財産増減額	2,142,799	1,895,923	246,876
一般正味財産期首残高	19,379,626	17,483,703	1,895,923
一般正味財産期末残高	21,522,425	19,379,626	2,142,799
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	24,522,425	22,379,626	2,142,799

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業	収益事業	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	51	0	51
基本財産受取利息	0	0	51	0	51
特定資産運用益	0	0	1,776	0	1,776
特定資産受取利息	0	0	1,776	0	1,776
事業収益	0	158,815,942	0	0	158,815,942
旅券発給支援に関する事業収益	0	158,815,942	0	0	158,815,942
受取補助金等	20,546,979	0	17,691,240	0	38,238,219
受取地方公共団体補助金	20,546,979	0	17,691,240	0	38,238,219
受取負担金	1,234,353	0	227,804	0	1,462,157
受取負担金	1,234,353	0	227,804	0	1,462,157
受取会費	0	0	392,000	0	392,000
賛助会員受取会費	0	0	392,000	0	392,000
受取寄付金	0	0	2,000	0	2,000
受取寄付金	0	0	2,000	0	2,000
雑収益	4,935	18,495	8,276	0	31,706
受取利息	4,935	3,495	6,758	0	15,188
雑収益	0	15,000	1,518	0	16,518
経常収益計	21,786,267	158,834,437	18,323,147	0	198,943,851
(2) 経常費用					
事業費	21,786,267	156,042,440	0	0	177,828,707
国際交流事業費	21,786,267	0	0	0	21,786,267
国際交流人件費(職員)	11,367,542	0	0	0	11,367,542
国際交流人件費(非常勤職員)	2,118,321	0	0	0	2,118,321
国際交流事業費	8,300,404	0	0	0	8,300,404
旅券発給支援に関する事業費	0	156,042,440	0	0	156,042,440
管理費	0	0	18,972,345	0	18,972,345
人件費	0	0	11,802,417	0	11,802,417
本部運営費	0	0	7,169,928	0	7,169,928
経常費用計	21,786,267	156,042,440	18,972,345	0	196,801,052
評価損益等調整前当期経常増減額	0	2,791,997	△ 649,198	0	2,142,799
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	2,791,997	△ 649,198	0	2,142,799
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額					

他会計振替額	0	△ 649,198	649,198	0	0
当期一般正味財産増減額	0	2,142,799	0	0	2,142,799
一般正味財産期首残高	0	17,021,874	2,357,752	0	19,379,626
一般正味財産期末残高	0	19,164,673	2,357,752	0	21,522,425
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	0	19,164,673	5,357,752	0	24,522,425

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため、定年退職及び自己都合による退職支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,874,000	1,125,000	6,701,000	1,298,000
小 計	6,874,000	1,125,000	6,701,000	1,298,000
合 計	9,874,000	1,125,000	6,701,000	4,298,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
特定資産				
退職給付引当資産	1,298,000	(-)	(-)	(1,298,000)
小 計	1,298,000	(-)	(-)	(1,298,000)
合 計	4,298,000	(3,000,000)	(-)	(1,298,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
一般財団法人つくば市国際交流協会補助金	つくば市	—	38,238,219	38,238,219	—	—
合 計		—	38,238,219	38,238,219	—	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金	3,000,000	－	－	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	退職給付引当資産	6,874,000	1,125,000	6,701,000	1,298,000
	特定資産計	6,874,000	1,125,000	6,701,000	1,298,000

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,874,000	1,125,000	6,700,442	558	1,298,000

財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	522,311
	預金	普通預金	運転資金として	24,640,052
		常陽銀行	公益事業の運転資金として	7,841,155
		常陽銀行	旅券発給支援事業の運転資金として	7,549,626
		常陽銀行	管理事業の運転資金として	9,057,117
		常陽銀行	預り金用として	192,154
	未収金		3 月分売りさばき手数料他	205,647
	棚卸資産		印紙・証紙在庫	14,236,353
	前払費用		4 月分借入金利息ほか	47,629
流動資産合計				39,651,992
(固定資産) 基本財産				
	預金	定期預金	基本財産運用益はつくば市国際交流	3,000,000
		常陽銀行	協会事業の財源として使用	3,000,000
	特定資産			
	預金	定期預金	退職給付引当金の支払い財源として	1,298,000
		常陽銀行	積み立てている	1,298,000
固定資産合計				4,298,000
資産合計				43,949,992
(流動負債)	短期借入金	常陽銀行	旅券発給支援事業の運転資金として	1,000,000
	未払金		3 月分賃金ほか	15,679,984
	前受金		講座受講料ほか	1,133,560
	預り金			316,023
	源泉所得税		源泉所得税	78,078
	源泉市県民税		源泉市県民税	51,500
	社会保険		職員、臨時職員分	149,292
	ウクライナ避難 民義援金		ウクライナ避難民義援金分	37,153
流動負債合計				18,129,567
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,298,000
固定負債合計				1,298,000
負債合計				19,427,567
正味財産				24,522,425

収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	51	949
基本財産利息収入	1,000	51	949
特定資産運用収入	0	1,776	△ 1,776
特定資産利息収入	0	1,776	△ 1,776
事業収入	172,797,000	158,815,942	13,981,058
旅券発給支援に関する事業収入	172,797,000	158,815,942	13,981,058
補助金等収入	45,682,000	38,238,219	7,443,781
地方公共団体補助金収入	45,682,000	38,238,219	7,443,781
負担金収入	2,211,000	1,462,157	748,843
受取負担金収入	2,211,000	1,462,157	748,843
会費収入	906,000	392,000	514,000
賛助会員会費収入	906,000	392,000	514,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
寄付金収入	0	2,000	△ 2,000
寄付金収入	0	2,000	△ 2,000
雑収入	1,000	31,148	△ 30,148
受取利息収入	1,000	15,188	△ 14,188
雑収入	0	15,960	△ 15,960
事業活動収入計	221,968,000	198,943,293	23,024,707
2. 事業活動支出			
事業費支出	196,731,000	181,174,707	15,556,293
国際交流事業費支出	24,934,000	25,132,267	△ 198,267
国際交流人件費支出(職員)	10,467,000	10,467,542	△ 542
退職金支出	1,392,000	4,246,000	△ 2,854,000
国際交流人件費支出(非常勤職員)	1,266,000	2,118,321	△ 852,321
国際交流事業費支出	11,809,000	8,300,404	3,508,596
旅券発給支援に関する事業費支出	171,797,000	156,042,440	15,754,560
管理費支出	29,896,000	21,201,787	8,694,213
人件費支出	16,700,000	14,031,859	2,668,141
本部運営費支出	13,196,000	7,169,928	6,026,072
事業活動支出計	226,627,000	202,376,494	24,250,506
事業活動収支差額	△ 4,659,000	△ 3,433,201	△ 1,225,799
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定活動取崩収入	6,701,000	6,874,000	△ 173,000
退職金給付引当資産取崩収入	6,701,000	6,874,000	△ 173,000
投資活動収入計	6,701,000	6,874,000	△ 173,000

2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	1,125,000	1,298,000	△ 173,000
退職給付引当資産取得支出	1,125,000	1,298,000	△ 173,000
投資活動支出計	1,125,000	1,298,000	△ 173,000
投資活動収支差額	5,576,000	5,576,000	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
短期借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
財務活動支出計	1,000,000	1,000,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期収支差額	△ 83,000	1,142,799	△ 1,225,799
前期繰越収支差額	20,881,000	21,379,626	△ 498,626
次期繰越収支差額	20,798,000	22,522,425	△ 1,724,425

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、棚卸資産、前払費用、未払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	17,827,567	25,162,363
未 収 金	116,375	205,647
棚 卸 資 産	10,317,747	14,236,353
前 払 費 用	56,664	47,629
合 計	28,318,353	39,651,992
未 払 金	6,184,632	15,679,984
前 受 金	12,000	1,133,560
預 り 金	742,095	316,023
合 計	6,938,727	17,129,567
次期繰越収支差額	21,379,626	22,522,425

2025 年（令和 7 年）度事業計画書

〔 自：2025 年 4 月 1 日
至：2026 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2025 年（令和 7 年）度事業計画の方針

つくば市内の外国人市民数は、2025 年（令和 7 年）2 月 1 日現在、144 か国 13,971 人（対前年度同月比 1,259 人の増）、国籍別では、中国国籍者（27.1%）が最も多く、次いで、ベトナム（14.2%）、インド（6.7%）、韓国（6.3%）、インドネシア（4.7%）の順となっており、この上位 5 か国で全体の約 6 割を占めています。特に、ベトナム国籍者は当協会が一般財団法人化した 2013 年と比較して約 15 倍となっています。

外国人市民数は、新型コロナウイルス感染症の拡大期を除き、毎年増加しており、今後もこの傾向が続くと予測されます。この増加に対応し、当協会は、外国人市民が安心して生活できる環境整備と多文化共生の推進に注力しています。

このような中、昨年 2 月 12 日つくばセンター地区に「つくば市民センター」と「つくば市消費生活センター」、「国際交流拠点（つくば市国際交流協会）」の 3 つを一体化した新しい市民活動拠点「コリドイオ」がオープンしました。

当協会は、この国際交流拠点において、特に 3 階の多文化共生ルームでは、こどもから大人までを対象とした日本語教室や各国の文化や習慣を紹介する「世界お茶のみ話」などを開催するとともに、コリドイオ 1 階の和室や音楽室、調理・実習室なども活用して、茶道体験、箏体験、世界各国の料理教室、日韓青少年交流を実施するなど、外国人市民と日本人市民との交流を促進しています。

つくば市では、令和 5 年 3 月「第 2 次つくば市グローバル化基本指針」を策定し、目指すゴールを「外国人・日本人の区別なく、すべての人にとって住みやすいグローバル都市」としています。

今後は、市民の積極的な参画を得て、協会事業の強化を図ります。特に、外国人市民の日本語学習などの生活支援や文化交流、情報提供の充実を目指し、市と連携して取り組んでいきます。

特に、生活のための「大人の日本語」や学校で自ら学ぶために必要な学習言語の習得を目指した「こども日本語勉強会」そして、日本と外国の文化を学び合う文化交流の充実を目指して、市と連携して取り組んでいきます。

このような状況に鑑み、2025 年（令和 7 年）度も、引き続き、行政、教育機関及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、この国際交流拠点をいかしながら、次の重点目標に取り組みます。

【重点目標】

1. 外国人生活支援体制の充実

日本で生活するうえで、日本語の習得は重要です。

協会では、外国につながる子どもや大人の日本語学習支援を行っています。今後は、支援体制の強化に向けて、ボランティアの確保とフォローアップ、活動しやすい環境整備を進めます。

また、医療通訳ボランティアの市内クリニックへの派遣制度の拡充により、外国人が必要な医療を受けやすい環境づくりを進めていきます。

2. 文化交流事業の充実

つくば市に住む外国人が年々増加している中で、様々な国の文化や習慣、価値観などを理解することは多文化共生社会を目指すうえで重要です。

そのため、外国人市民や日本人市民の文化交流を深められるような事業を計画するとともに、引き続き、「世界お茶のみ話」や「料理教室」などを開催し、異文化理解を促進します。

3. 外国人への情報提供とコミュニティの活性化

外国人市民の生活環境を向上させるためには、情報提供の強化とコミュニティ活動の活性化が重要です。

そのため、外国人が必要とする情報を協会ホームページやフェイスブックで発信するとともに、多文化共生コーディネーターが外国人の視点で役に立つ情報を SNS 等で発信し、コミュニティの活性化を支援します。

年度別 事業計画 比較表

国際交流事業

2025 年度事業計画	2024 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人） 1 日本語（大人向け） (1) 日本語講座 (2) 日本語ボランティア講師入門講座 2 こども日本語・就学・進学支援 (1) こども日本語勉強会（小中学生） (2) こども日本語勉強会（高校生） (3) 15歳から18歳までのこども日本語勉強会 (4) こども日本語支援者研修会 (5) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (6) こども日本語支援プラットフォーム会議 3 医療通訳ボランティア派遣 4 メディカル英会話講座 5 やさしい日本語で防災講座	A 外国人生活支援事業（対象：外国人） 1 日本語（大人向け） (1) 日本語講座 (2) 日本語ボランティア講師入門講座 2 こども日本語・就学・進学支援 (1) こども日本語勉強会（日本語学習相談） (2) 15歳から18歳までのこども日本語勉強会 (3) こども日本語指導者研修会 (4) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (5) こども日本語支援プラットフォーム会議 3 医療通訳ボランティア派遣 4 メディカル英会話講座 5 やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人） 1 つくばフェスティバル 2 文化交流 (1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験 3 姉妹友好都市交流 4 通訳ボランティア入門講座 5 ボランティア募集・派遣 (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業 (3) ボランティア交流会 6 シティ・チャットカフェ	B 文化交流事業（対象：日本人・外国人） 1 つくばフェスティバル 2 文化交流 (1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験 3 姉妹友好都市交流 4 通訳ボランティア入門講座（名称変更） 5 ボランティア募集・派遣 (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業 (3) ボランティア交流会 6 シティ・チャットカフェ
C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人） 1 広報 (ホームページ・facebook・広報誌発行) 2 多文化共生推進事業 3 賛助会員募集	C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人） 1 ニーズ調査・広報 (ホームページ・facebook・広報誌発行) 2 多文化共生推進事業 3 賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）
-------------------------------	-------------------------------

2025 年（令和 7 年）度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 （1）こども日本語勉強会（小中学生）（拡充） （2）こども日本語勉強会（高校生）（新規） （3）15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 （4）こども日本語支援者研修会 （5）小中学校就学・高校進学ガイダンス （6）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア派遣
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル
2	文化交流 （1）世界お茶のみ話（講演会） （2）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流
4	通訳ボランティア入門講座
5	ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （2）外国人生活サポート事業 （3）ボランティア交流会
6	シティ・チャットカフェ
C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人）	
1	広報（ホームページ・facebook・広報誌発行）
2	多文化共生推進事業
3	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2025 年（令和 7 年）度つくば市国際交流協会事業詳細

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 日本語（大人向け）

（1）日本語講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語（入門から初級）の修得を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2024 年度から対面授業を再開した。クラス編成は、参加者とボランティア講師の希望に沿い調整し、オンラインと対面で実施していく。
- ・ 日本語ボランティア講師（TIVONA の会）と協力し、外国人と交流をしながら日本語指導ができるボランティアの確保と指導スキルのレベルアップ研修会を実施し、初心者でも安心して活動できる環境を作る。

④概要：

- ・ クラス：対 面 → 昼 4 クラス、夜 1 クラス、
オンライン → 夜 5 クラス
- ・ 期 間：4 月～2 月
- ・ 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 回 数：昼夜クラス 年 30 回
- ・ 定 員：各クラス 15 名
- ※ 教室運営は日本語ボランティア講師（TIVONA の会）が担当する。

（2）日本語ボランティア講師入門講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 日本語講座で講師をするボランティアを養成することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

TIVONA の会の協力を得て、初心者が安心して参加できる体制を作り、実際の授業を見学しながら指導者として授業ができるようになるよう実施する。

2024 年度から、受講の機会を増やすため、年 2 回開催している。

④概要：

- ・回数：年2回（1回：オンデマンド講座4時間、対面講座1日程度）
- ・賛助会員の特典事業とする。

2 こども日本語・就学・進学支援

（1）こども日本語勉強会（小中学生）

①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的：市内小中学校では、日本語支援が必要な児童生徒が毎年増加している。放課後などに個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・2024年度までは、高校生までを対象としていたが、小中学生のみで定員を超過している状態である。高校生に対する日本語勉強会を、別途創設することにより、より多く受け入れできるようにする。
- ・バスで通うこどもや、部活動がある曜日は参加できない中学生が多いため、開催曜日や時間を変更する。

④概要：

- ・期間：5月～3月
（4月は保護者面談、以後随時受付。8月はお休み）
 - ・学校の夏休み期間は勉強会をお休みとし、支援者の教材研究、研修を行う。
 - ・場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
 - ・対象：公立の学校に通う小学5年生から中学3年生まで
 - ・回数：週2回（年75回程度）
- ※ 日本語学習方法などの児童生徒や保護者からの疑問に対するアドバイスも適宜行うとともに、様々な状況に柔軟に対応する。

（2）こども日本語勉強会（高校生）

①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的：高校に入学したものの、日本語の習得が十分ではないために退学などを余儀なくされている生徒も多いことから、そのような生徒のために、在月中や卒業後の進路を見据えた日本語支援を行う。

③事業の工夫、予算上の特徴

当初は週1回実施し、参加者の人数や保護者の要望があれば拡充を検討する。

④概要：

- ・期間：5月～3月
（4月は保護者面談。以後随時受付。8月はお休み）

- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 対象：高校生
- ・ 回数：週 1 回、年 35 回程度
- ・ 内容：高校での学習や卒業後の進路目標も見据えた日本語学習を実施する。

(3) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的： 学齢期を過ぎた外国につながるこどもが中学校や高校に編入する場合、日本語の習得状況によって進学や就職が難しいことが多い。こうした状況を改善するために基礎的な日本語学習の場を提供することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

参加者が少ない要因として、未就学者のデータを得ることが難しく、本事業について直接案内することが難しいという課題があるため、様々な機会に呼びかけていきたい。

④概要：

- ・ 期間：5 月～3 月
(4 月保護者面談。以後随時受付。8 月はお休み)
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 回数：週 2 回、年 70 回程度
- ・ 内容：日常生活や進学、仕事などニーズに合わせた日本語学習を実施する。

(4) こども日本語支援者研修会

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的： 外国につながる児童生徒に対する日本語支援について、日本語の指導方法を学び、こども日本語勉強会の支援者を養成することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

ボランティア登録者は多いが、実際に活動に繋がる方は限られており、人材確保のため、継続して実施していく。

④概要：

- ・ 実施時期：7 月から 12 月頃
 - ・ 回数：5 回
 - ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ※ 研修会受講者は、こども日本語勉強会の見学、実習を経て、当協会にボランティア登録を行うとともに、上記 (1) ～ (3) で活動する。

(5) 小中学校就学・高校進学ガイダンス

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：日本の学校制度について分かりやすく説明することにより、就学や進学を目指す外国につながる児童生徒や保護者が、できるだけ早い時期から準備できるようにしていくことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・各小中学校では進学説明会などが実施されているが、外国につながる児童生徒や保護者に対して母語での説明でないことが多いことから、言葉の問題に加え、学校制度や文化の違いにより内容を理解できていないことも多い。
- ・参加者の母語を使って説明することでより理解が深まることが期待できる。
- ・要望があれば、可能な限り学校に出向き対応していく。
- ・チラシの翻訳言語を増やすことで、母国語しかわからない保護者に伝わりやすくする。

④概要：

- ・期間：年2回
- ・場所：コリドイオ 多文化共生ルームなど
- ・内容：・小中学校の就学ガイダンス
・高校進学ガイダンス

(6) つくばこども日本語支援プラットフォーム会議

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：つくば市内に在住する、日本語支援が必要な児童生徒の置かれた状況を、それに携わる団体等がその状況を共有するとともに、協会事業に対する具体的な提案をいただき、実際の活動に繋げていくことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・協会のこども日本語支援事業に関して参加団体から、つくば市における外国につながる児童生徒の状況や、先進事例などをもとに助言をいただき、事業の企画運営に生かしていく。

④概要：

- ・実施回数：年2回程度
- ・参加団体：筑波大学、日本国際学園大学、茨城 NPO センターコモンズ、日本語学校、学校日本語支援ボランティア、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課など

3 医療通訳ボランティア派遣

①【新規・拡充・継続・**縮小**・廃止】

②目的： 市内在住外国人が病院で安心して受診できるよう患者の母語で通訳を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

2024 年 8 月に医療通訳ボランティアのクリニック派遣を開始したものの派遣依頼は非常に少ない。

また、茨城県が、医療機関における多言語遠隔医療通訳サービスの提供を 2024 年 11 月から開始したことから、これらの状況を注視しながら事業内容を検討する。

④概要：

ア：医療通訳ボランティア派遣

- ・ 派遣：随時（病院または患者からの要請による）
- ・ 派遣先：医療通訳ボランティア派遣協定を締結した病院、クリニック等
- ・ 対応言語：英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

イ：医療通訳ボランティア勉強会

- ・ 回数：2～3 か月毎開催（言語により異なる）
- ・ 場所：つくば市内またはオンラインミーティング

4 メディカル英会話講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人患者が病院に受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるようになることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 外国人講師が、患者の気持ちに寄り添った対応の仕方、英語を母語としない人にも伝わるやさしい英語で話すコツを学ぶ。
- ・ 医療通訳ボランティア協定病院の勤務者及び賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・ 回数：年 1 回 11 月
- ・ 場所：オンライン
- ・ 対象：病院・クリニックの受付事務担当者、看護師、医師など医療従事者

5 やさしい日本語で防災講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 日本に住む期間が短い外国人の方々は、地震などの災害に対して不安を感じていることが多い。防災に関する講演や体験会を行うことで、防災に関する知識や対処方法を周知することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

防災及びやさしい日本語に対する専門知識や経験のある外部団体と共催し、外国人に対して理解しやすい内容で周知できるよう工夫する。

④概要：

- ・ 期 日：10月の防災の日前後
- ・ 回 数：年1回～2回
- ・ 場 所：コリドイオまたはフィールドワーク
- ・ 講 師：防災士など
- ・ 参加者：150人程度

文化交流事業（対象：日本人・外国人）

1 つくばフェスティバル

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 世界の舞踊や歌の披露、料理等の販売、国際理解プログラムなどを行うことで、多様な人々の相互理解や市民交流、地域参画など、国際交流と多文化共生社会の推進することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 開催方法や規模については、参加希望者状況などにより柔軟に対応していく。
- ・ 食中毒等への対策として、出店ルールの見直しを図る。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・ 実 施 日：令和7年5月17日（土）、18日（日）
- ・ 募集团体：飲食・物販・団体紹介など22団体程度、ステージ発表10団体程度

2 文化交流（世界お茶のみ話、日本・外国文化体験など）

（1）世界お茶のみ話（講演会）

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： つくばに繋がりのある外国人が、母国やその周辺で起こっていることを伝え、課題を共有するとともに、日本又はつくばから何ができるのかなど、講演者と聴講者との間で意見交換をすることで、相互理解と交流促進を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

聴講者が発言しやすい雰囲気を作ることに心掛けるとともに、オンライン環境を生かして、海外からの参加も募っていく。
開催時間を午前に変更することも検討する。

② 概要：

- ・ 実施日：毎月第3土曜日 14：00～15：30
- ・ 回数：年12回
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム

（2）日本・外国文化体験

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 各国の料理や文化体験を通して、多文化共生（国際理解）の促進に寄与することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 対面で実施が難しい場合は、オンライン講座も検討する。
- ・ 講師探しの際、お茶のみ話など他事業との連携について検討する。

④概要：

- ・ 回数：年5回程度
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム、調理・実習室、筑波大学など
- ・ 内容：日本・外国料理、各国文化体験など

3 姉妹友好都市交流

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う中学生が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来的に両国の懸け橋となることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ つくば市の中学生が韓国大田広域市に訪問する。
- ・ 2泊をホームステイとし、つくば市と韓国大田広域市の中学生が交流する時間を十分に確保する。

④概要：

・実施日：令和7年7月後半、またはお盆期間を除く8月中

4 通訳ボランティア入門講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：つくば市には、外国語を生かした活動を希望する人が多いことから、通訳や翻訳の経験のない人に対して、ボランティア通訳の心構えや基礎を勉強し、実践に結びつけることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・外国人講師が経験を元に、コミュニティ通訳のノウハウを教えるとともに、多文化共生コーディネーターも参加し、通訳を練習する。
- ・賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・回数：年1回 2月頃を予定

5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

(1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：市民・留学生・JICA研修員などの依頼者に対し、通訳やホームステイ等の支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

文化紹介については、子どもにも分かりやすい資料作成を依頼しており、同時にやさしい日本語を使って説明を行うよう推奨している。

④概要：

- ・通訳、翻訳：随時
- ・文化紹介

日本や外国の文化の紹介のため、協会事業のほか、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などに派遣：随時

- ・ホームステイ：随時

(2) 外国人生活サポート事業

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：日常生活の各種手続き等で気軽に聞ける場を提供するため、サポーター（日常生活の助言をくれる人）を育成し派遣する。

③事業の工夫、予算上の特徴

特に、来日間もない外国人や、初めて子どもを保育園、幼稚園、学校に入れる外国人の保護者に対して支援する。

2年目となる本年度は、サポーターを増やすため研修会を実施するとともに、利用希望者を増やすため周知していく。

④概要：

- ・ 新人サポーター研修会：7 月頃（1 回）
- ・ 新人サポーター登録：9 月頃
- ・ 利用者募集：随時

（3）ボランティア交流会

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 協会に登録している各種ボランティアが交流することにより、他の活動を知るとともに、活動の機会を増加させることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 過去数年間に活動したボランティアの方々の体験を聞くとともに、協会の活動を活発にするための意見交換を行い、事業へ反映できるものを探っていく。
- ・ 実施方法については、今後検討する。

④概要：

- ・ 期 日：12 月頃
- ・ 回 数：年 1 回
- ・ 場 所：コリドイオ 多文化共生ルームなど
- ・ 講演者：協会登録ボランティア 10 名程度
- ・ 内 容：事例発表、グループミーティングなど
- ・ 参加人数：50 人

6 シティ・チャットカフェ

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 英語で気軽におしゃべりすることにより市内在住の外国人留学生と国際交流することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

これまで、共同主催の筑波大学が 2024 年度で当該事業を終了したが、コーディネーターを務める留学生の募集などに協力いただく。2025 年度から、協会の事業として継続していく。

筑波大学留学生にフレンドリーな雰囲気づくりに寄与してもらい、より気軽に誰でも参加しやすいイベントを目指す。

④概要：

- ・ 回 数：年 6 回程度
- ・ 場 所：コリドイオ筑波大学グローバルビレッジ（予定）
- ・ 協 力：筑波大学

C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人）

1 広報

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 協会の事業を広く市民に周知することで、理解や多方面での支援をいただくため、各種広報媒体を活用し情報発信を行う。

③事業の工夫、予算上の特徴

当協会のホームページや SNS、区会回覧の他、市国際都市推進課や他機関とも連携し、効果的な情報発信を行う。

④概要：

ホームページや facebook、広報誌などを通じて周知する。

- ・ ホームページや facebook：随時
- ・ 広報誌：年 2 回発行

2 多文化共生推進事業

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人が必要とする日常生活に関連する様々な情報の多言語発信や、日本人との交流および外国人の日本理解を推進するための文化体験講座の企画運営をすることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

外国人が必要とする情報の発信と問題点の聞取りをするため、多文化共生コーディネーターとして外国人を雇用する。

また、つくばには 2025 年 2 月 1 日現在、144 カ国 13,971 人の外国人が居住している。様々な言語で発信できるよう 5 カ国のコーディネーターを雇用する。

④概要：

- ・ 多文化共生コーディネーターの配置
- ・ 主な業務
 - ・ コミュニティの形成支援
 - ・ 外国人向け情報提供コーナーの設置及び運営
 - ・ 各種広報媒体を活用した多言語での情報発信
 - ・ 国際交流拠点の交流スペースでの外国人と日本人の市民の交流の場の設置に係る事業の立案・実施
- ・ 雇用：平日各曜日 1 カ国（合計 5 カ国）の外国人を雇用
- ・ 時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

3 賛助会員募集

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人支援や在住外国人との交流を深めるとともに、国際交流を通して多文化共生、国際理解、姉妹・友好都市との交流や財政面からも支援いただける方を募ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

多くの方に共感いただき、支援いただけるような事業展開や情報発信を進めていく。

会員にメリットがある事業を企画していく。

④概要： 協会を資金面から支援いただくために募集を行う。

個人会員 一口 2, 000円／年度

団体会員 一口 10, 000円／年度

法人会員 一口 20, 000円／年度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市民のパスポート発行に伴う利便性の向上を図るため、パスポート用の写真撮影、印紙・証紙、切手等の販売を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

規制緩和により海外の往来が始まったため回復の兆しが見えてきた。

但し、オンライン申請の開始やクレジット決済が実施され始めたことから、今後の販売状況を注視していく。

④概要：

・ 営業日：月曜～金曜日（土日祝、12月29日～1月3日休み）

・ 時 間：午前8時45分～午後4時30分（窓口時間）

2025 年度収支予算書

〔 自：2025 年 4 月 1 日
至：2026 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2025年度収支予算書(資金収支計算ベース)(案)
2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:千円)

科目	2025年度	2024年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	0
②事業収入	172,797	172,797	0
旅券発給支援に関する事業収入	172,797	172,797	0
③補助金等収入	45,316	45,682	△ 366
地方公共団体補助金収入	45,316	45,682	△ 366
④負担金収入	2,180	2,211	△ 31
受取負担金収入	2,180	2,211	△ 31
⑤会費収入	906	906	0
賛助会会費収入	906	906	0
⑥協賛金収入	370	370	0
協賛金収入	370	370	0
⑦雑収入	1	1	0
受取利息収入	1	1	0
雑収入	0	0	0
事業活動収入計	221,571	221,968	△ 397
2事業活動支出			
①事業費支出	196,201	196,731	△ 530
国際交流事業支出	24,404	24,934	△ 530
給与支出(職員)	10,786	10,467	319
退職金支出	0	1,392	△ 1,392
給与支出(非常勤職員)	1,300	1,266	34
事業費支出	12,318	11,809	509
旅券発給支援に関する事業支出	171,797	171,797	0
②管理費支出	23,505	29,896	△ 6,391
給与支出(職員)	11,337	11,391	△ 54
退職金支出	0	5,309	△ 5,309
給与支出(非常勤職員)	3,210	0	3,210
本部運営費支出	8,958	13,196	△ 4,238
事業活動支出計	219,706	226,627	△ 6,921
事業活動収支差額	1,865	△ 4,659	6,524
II 投資活動収支の部			
1投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	6,701	△ 6,701
退職給付引当資産取崩収入	0	6,701	△ 6,701
投資活動収入計	0	6,701	△ 6,701
2投資活動支出の部			
①特定資産取得支出	865	1,125	△ 260
退職給付引当資産取得支出	865	1,125	△ 260
投資活動支出計	865	1,125	△ 260
投資活動収支差額	△ 865	5,576	△ 6,441
III 財務活動収支の部			
1財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2財務活動支出			
①借入金返済支出	1,000	1,000	0
短期借入金返済支出	1,000	1,000	0
財務活動支出計	1,000	1,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000	△ 1,000	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	0	△ 83	83
前期繰越収支差額	20,798	20,881	△ 83
次期繰越収支差額	20,798	20,798	0

(注)借入金限度額 10,000,000円